

令和2年10月30日
健康推進課

令和元年度 がん検診再受診勧奨事業の結果について

1 事業内容

(1) 実施方法

全対象者への個別勧奨通知とは別途、対象区民に子宮がんまたは乳がん検診の受診勧奨リーフレットを個別送付した。

リーフレットは受診歴に応じて異なる内容とし、対象者が該当のがん検診をいつから未受診であるかの情報も掲載した。

(2) 対象者

<対象年齢>

- ・子宮がん：22、24歳
- ・乳がん：42、44歳

<受診歴>

- ・過去2、3年間に受診歴のある方
- ・受診歴のない方

※ なお、令和元年8月23日時点で、令和元年度に対象のがん検診の受診を確認できた者は、発送対象者から除外した。

(3) 発送日

令和元年10月9日（水）

（個別勧奨通知は、4月～6月に送付）

(4) 対象件数

- ・子宮がん【受診歴あり】…………… 306件
- ・子宮がん【受診歴なし】…………… 4,550件
- ・乳がん【受診歴あり】…………… 1,670件
- ・乳がん【受診歴なし】…………… 7,168件
- 合計…………… 13,694件

2 受診状況

	対象者数(人)	受診者数(人)	受診率
子宮がん【受診歴あり】	306	67	21.9%
子宮がん【受診歴なし】	4,550	230	5.1%
乳がん【受診歴あり】	1,670	728	43.6%
乳がん【受診歴なし】	7,168	482	6.7%

3 受診率向上効果について

再受診勧奨の効果を検証するため、再受診勧奨対象者と1歳違いとの者との受診率の比較を実施した。

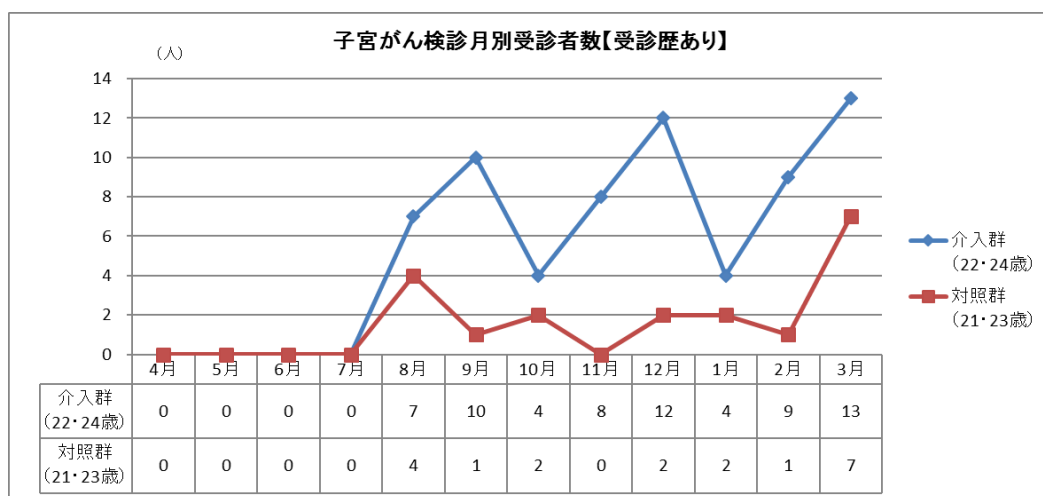
<比較対象者>

- ・子宮がん：21、23歳
- ・乳がん：41、43歳

(1) 発送後の受診者数

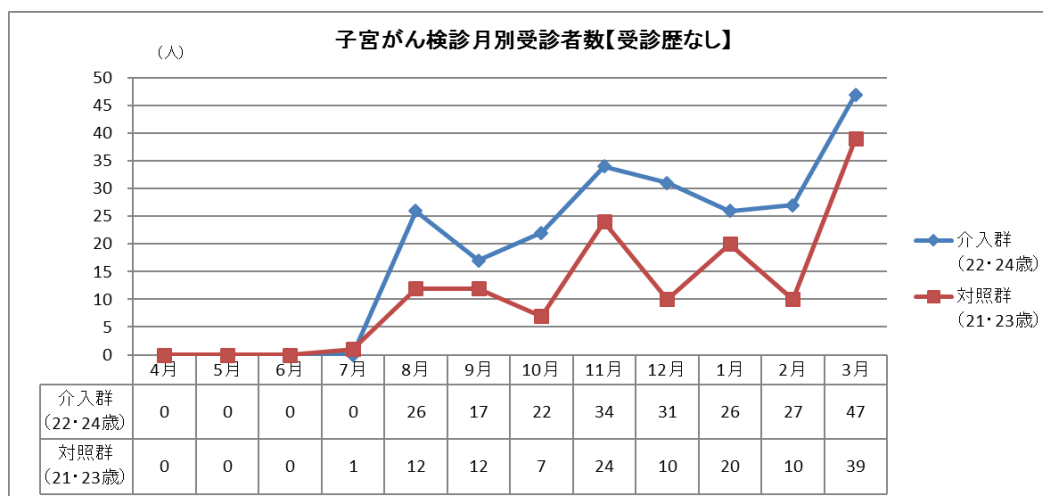
子宮がん【受診歴あり】

受診勧奨を行った「介入群（22、24歳）」の12月の受診者数は「対照群（21、23歳）」の6倍。1月は「対照群（21、23歳）」との差が縮まったが、3月は再び受診者が増加し受診勧奨直後より多い受診者数となった。



子宮がん【受診歴なし】

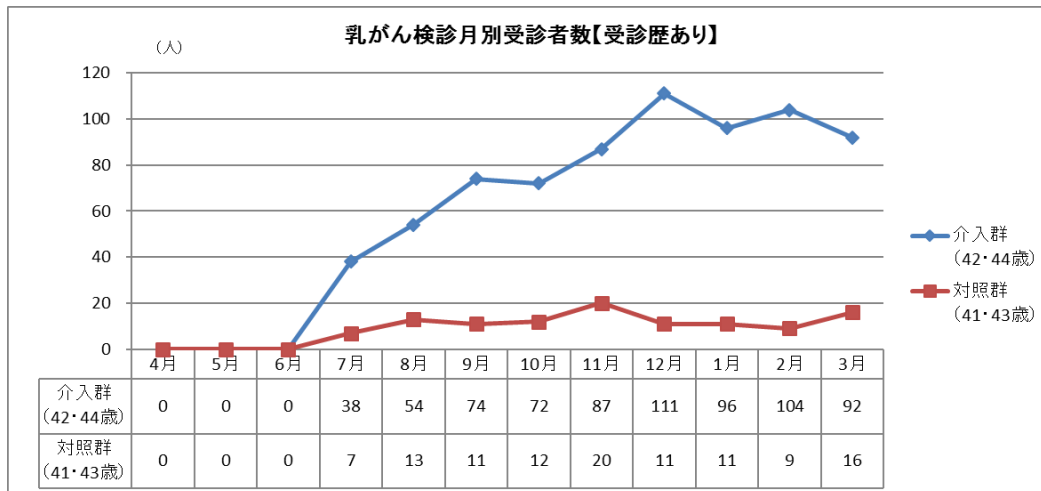
受診勧奨を行った「介入群（22、24歳）」の11月の受診者数は、9月に比べて2倍。同月「対照群（21、23歳）」比で1.4倍となった。



乳がん【受診歴あり】

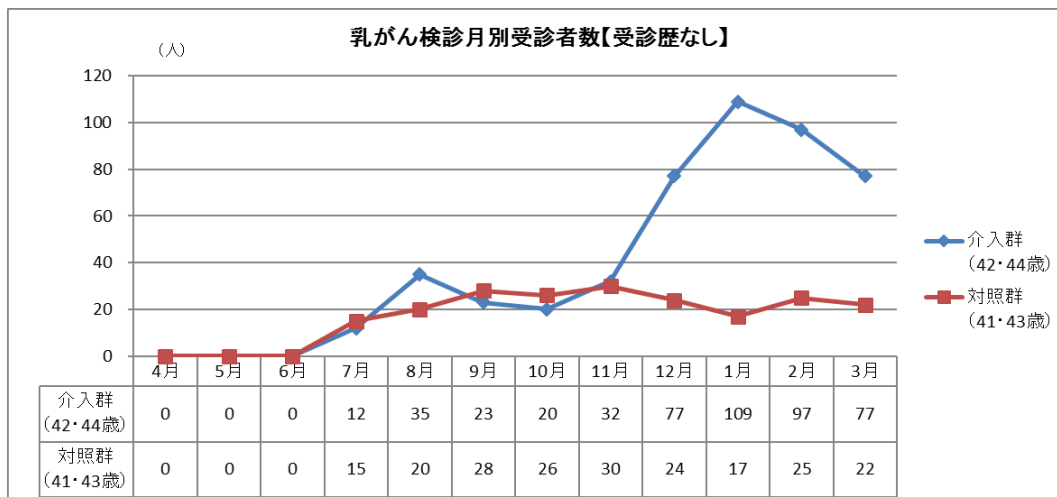
乳がん検診の受診月は、申込み月の2か月後となるため、12月以降の受診状況を比較する。

受診勧奨を行った「介入群（42、44歳）」の12月の受診者数は「対照群（41、43歳）」の10倍であった。



乳がん【受診歴なし】

受診勧奨を行った「介入群（42、44歳）」の12月の受診者数は、10月に比べて3.8倍。同月「対照群（41、43歳）」比で3.2倍であった。



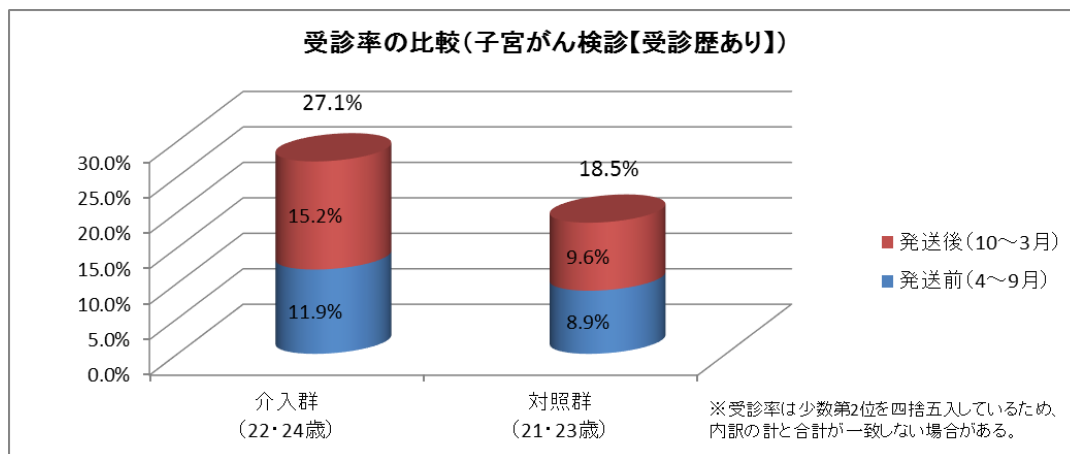
(2) 受診率の比較

子宮がん【受診歴あり】

受診勧奨を行った「介入群」の受診率 27.1%は、対照群 18.5%と比べ 8.6 ポイント高かった。(※1)

また、発送前後の受診率を比較すると、発送前(4月～9月)は、「介入群」が 11.9%、「対照群」が 8.9%で 3 ポイント差であったのに対し、発送後(10月～3月)は、「介入群」が 15.2%、「対照群」が 9.6%で 5.6 ポイントと差が大きくなった。

※1 カイ二乗検定を行ったところ有意差があった。(0.01 ≤ p < 0.05)

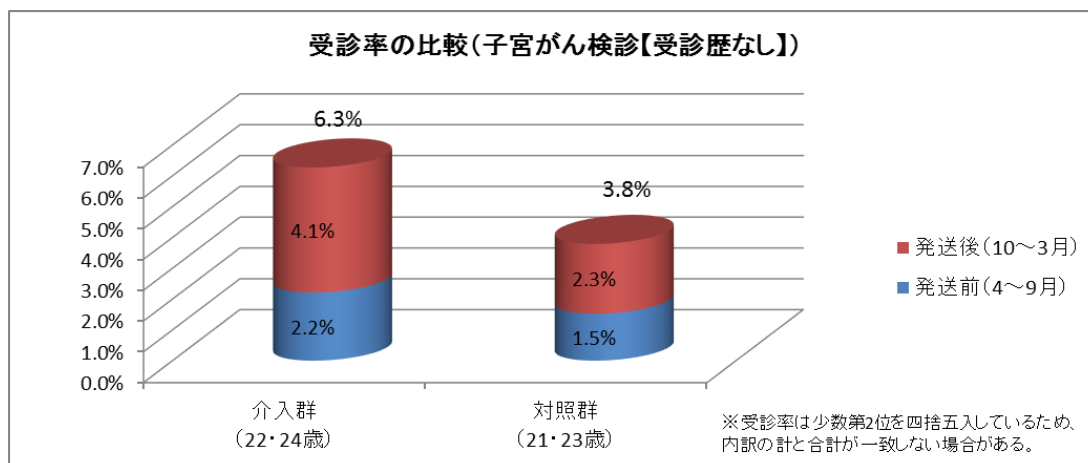


子宮がん【受診歴なし】

受診勧奨を行った「介入群」の受診率 6.3%は、対照群 3.8%と比べ 2.5 ポイント高かった。(※2)

また、発送前後の受診率を比較すると、発送前(4月～9月)は、「介入群」が 2.2%、「対照群」が 1.5%と 0.7 ポイント差であったのに対し、発送後(10月～3月)は、「介入群」が 4.1%、「対照群」が 2.3%で 1.8 ポイント差となった。

※2 カイ二乗検定を行ったところ有意差があった。(p < 0.001)

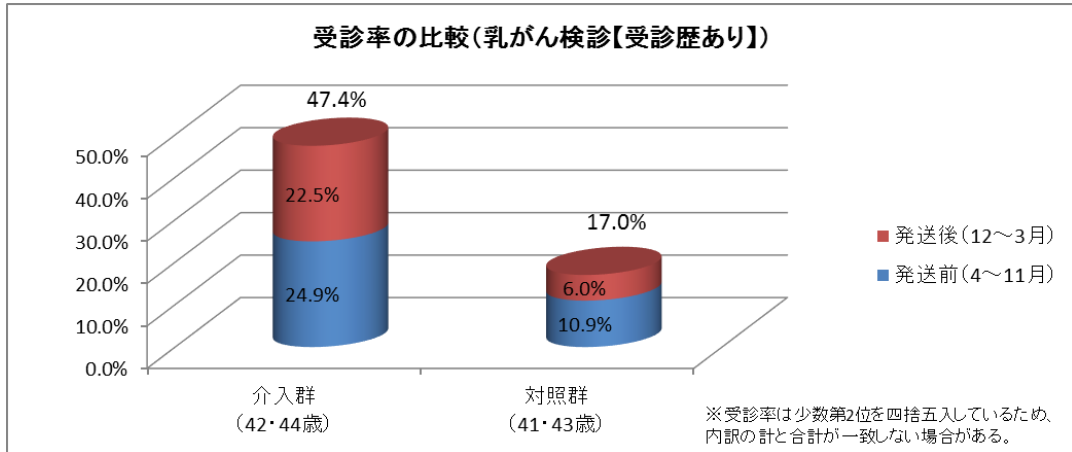


乳がん【受診歴あり】

受診勧奨を行った「介入群」の受診率 47.4%で、対照群 17.0%と比べ 30.4 ポイント高かった。(※3)

また、発送前後の受診率を比較すると、発送前(4月～11月)は、「介入群」が 24.9%、「対照群」が 10.9%と 14 ポイント差であったのに対し、発送後(12月～3月)は、「介入群」が 22.5%、「対照群」が 6.0%で 16.5 差となった。

※3 カイ二乗検定を行ったところ有意差があった。(p<0.001)

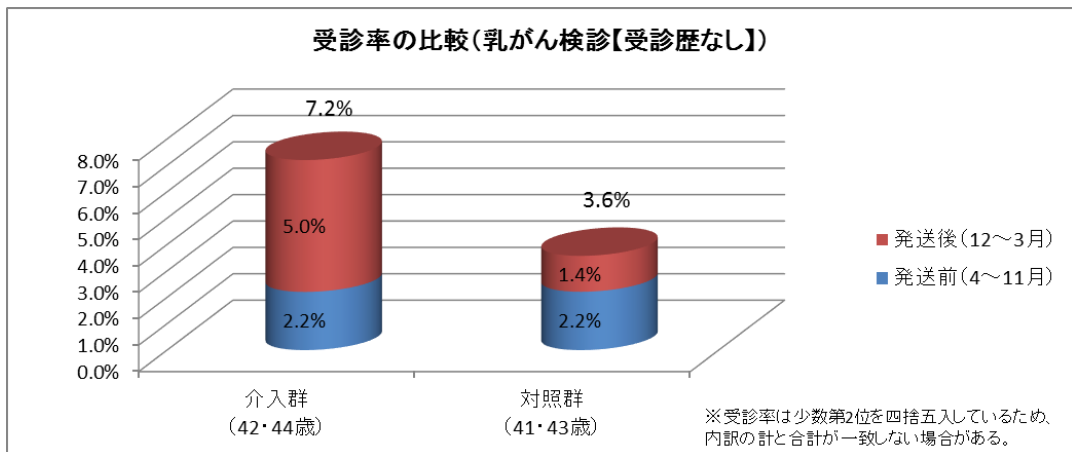


乳がん【受診歴なし】

受診勧奨を行った「介入群」の受診率 7.2%は、対照群 3.6%と比べ 3.6 ポイント高かった。(※4)

また、発送前後の受診率を比較すると、発送前(4月～11月)は、「介入群」が 2.2%、「対照群」が 2.2%と同じであったのに対し、発送後(12月～3月)は、「介入群」が 5.0%、「対照群」が 1.4%で 3.6 ポイント差となった。

※4 カイ二乗検定を行ったところ有意差があった。(p<0.001)



4 令和2年度再受診勧奨策について

過去3年間の再受診勧奨平均受診率をみると、子宮がんは受診歴あり20.9%、受診歴なし4.2%、乳がんは受診歴あり32.3%、受診歴なし5.5%と受診歴ありの方への再受診勧奨が効果を上げている。

この結果を受け、より効果的な再受診勧奨策とするため、令和2年度の再受診勧奨事業においては、送付対象を受診歴ありの方に重点をおくこととし、あわせて対象年齢の拡大を図る。

	29年度	30年度	元年度	平均
子宮がん【受診歴あり】	15.6%	25.3%	21.9%	20.9%
子宮がん【受診歴なし】	4.1%	3.4%	5.1%	4.2%
乳がん【受診歴あり】	41.9%	11.5%	43.6%	32.3%
乳がん【受診歴なし】	6.7%	3.1%	6.7%	5.5%

【令和2年度再受診勧奨策】

・子宮がん

対象年齢 : 22歳～39歳の全年齢

受診歴 : 2・3年前に受診歴のある方

対象者数 : 5,034人

・乳がん

対象年齢 : 42歳～60歳の偶数年齢

受診歴 : 2・3年前に受診歴のある方

対象者数 : 7,262人

※令和元年度再受診勧奨策

<対象年齢>

・子宮がん : 22、24歳

・乳がん : 42、44歳

<受診歴>

・過去2、3年間に受診歴のある方

・受診歴のない方

<対象者数>

・子宮がん

受診歴あり 306件

受診歴なし 4,550件

・乳がん

受診歴あり 1,670件

受診歴なし 7,168件